



※左記のQRからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

議会です こんにちは

第159号

主な内容

- P 6 ・新年のご挨拶
- ・新交流複合施設に関する委員会の設置
- P 7 ～ P 8 ・各常任委員会からの報告
- P 9 ・道北支部議長会議員研修会
- P 9 ・各組合議会からの報告 ほか
- P 10 ～ P 12 ・第4回定例会一般質問
- P 13 ・こんなことが決まりました
- ・議会の動向 …………… ほか

市民の皆様、明けましておめでとうございます。
令和8年の新春を市民の皆様とともに迎えることができますことを心からお慶び申し上げます。
日頃から、留萌市議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



決意新たに！



市議会では、市民ニーズの把握に努め、その声を議会に反映させる取組の一環として、9月に市民と議会の意見交換会を開催したほか、SNSの活用など、議会基本条例に基づいた「わかりやすく・開かれた」議会の実現を目指し、積極的な議会情報の発信などに努めております。

本年も市への監視機能を發揮するとともに、多種多様な民意の反映、政策の立案等を実現していくため、議会運営の創意工夫、議員資質の向上等、市民の皆様の負託に応えるよう、議員一同決意を新たにしているところでございます。
本年が、皆様にとりまして幸せ多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議長 燕 昌 克

新交流複合施設建設に関する特別委員会の設置

現在、市は令和6年9月に策定された「留萌市新交流複合施設整備基本構想」をもとに、市民が主体で議論されている「新交流複合施設整備検討会議」、市内で議論されている「新交流複合施設庁内検討会議」等において、基本計画の策定に向け具体的な検討を進めております。市議会においても「公共施設整備調



査研究会」を設置し、庁舎、社会教育施設等について、先進地の視察などにより見聞を高め、調査・研究を重ねてきたところですが、役割を終え活動を終了しました。今後「基本計画」「基本設計」「実施設計」と進んでいく予定であり、市議会としても、それぞれの計画策定段階から積極的に議論を重ね、実効性ある計画を推進していくために「新交流複合施設建設に関する特別委員会」を設置しました。委員は、議長を除く議員13人で構成し、令和7年12月10日からスタートとなりました。

アウトドア・アクティビティ拠点施設出店者選定 生活者支援のための上下水道料金免除

総務経済
常任委員会
の報告

◎委員 長 戸水美保子 ・村上 雅彦 ・小野 敏雄 ・野崎 良夫
○副委員長 宇川 達朗 ・鈴田 亜湖 ・村山ゆかり

12月22日開催の第14回常任委員会は、総務部・地域振興部・都市環境部からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

【総務部】

議案事項として、令和7年度一般会計補正予算(第8号)について説明を受けた。

【地域振興部】

議案事項1件のほか、情報提供事項として令和7年度第1回留萌市地方創生協議会の開催について、令和7年度物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金の取組状況について、市民卓球教室の開催結果及び卓球開放事業の実施状況、アウトドア・アクティビティ拠点施設内物販・飲食施設の出店者選定について、アウトドア観

光の推進に係る取組状況について説明を受けた。

【都市環境部】

報告事項として生活者支援のための上下水道料金免除について、議案事項として令和7年度留萌市一般会計補正予算(第8号)、専決処分(報告(訴えの提起)、情報提供事項として神居岩パークゴルフ場の窓口業務休止の試行結果について、留萌市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について、第3期留萌市生活排水処理基本計画(素案)、令和6年度版留萌市の環境について説明を受けた。



▲アウトドア・アクティビティ拠点施設

総務経済常任委員会行政視察「茨城県常総市、土浦市」

行政視察で茨城県常総市と土浦市を訪問し、防災先進都市、PPP官民連携、サイクルツーリズムを調査した。



▲常総市

常総市は平成27年9月の関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊し、甚大な被害を受けた。以後、国・県・関係市町と連携し治水のハード対策を進め、広域避難計画や災害情報の伝達手段を整備。住民が自分の判断と行動を時系列で整理する「みんなでタイムライン(逃げキット)」や、9月10日を防災の日とする小中学校一斉防災教育で正常性バイアス克服を図っていた。課題は自主防災組織の担い手確保と意識の継続向上であると説明を受けた。

PPPは、公共施設マネジメントで施設を適正化・効率化し支出を抑えつつ、民間提案制度で魅力向上

と「稼ぐ装置」化を目指している。原則として新たな市負担を生まない提案を募り、事業化協議成立後に提案者と契約・協定を結び、長期(30年)で運営するなど実績を積む一方、提案数の減少に対応し行政側がテーマ提示する工夫を進めていた。

土浦市は、約180キロのりんりんロードを核に、拠点整備とレンタサイクル等で交流を創出している。他市町村と連携も行われ、効果の見える化と体験コンテンツ拡充を進めていた。拠点「りんりんスクエア土浦」にはシャワーやロッカー、ショップが集約され、利用者は年々増え、消費額は28億円超と試算されると説明を受けた。



▲「りんりんポート土浦」

民生文教 常任委員会 の報告

新型コロナワクチン国による半額補助 市立病院市民説明会を開催

◎委員長 田村 裕樹
○副委員長 小沼 清美

・川村 忠司 ・横田 美樹 ・村上 均
・燕 昌克 ・米倉 靖夫

市民健康部、教育委員会、留萌市立病院の議案・情報提供事項について確認した。

【市民健康部】

新型コロナワクチンの定期接種について、国による半額補助が令和8年3月31日まで実施されることについて説明があった。また、介護施設等のエアコン等の設置を実施する事業者に対する補助金についての議案のほか補正予算3件について、さらに、国による物価高騰対策生活応援事業に係る議案5件の補正予算について確認した。

【教育委員会】

孤独・孤立を防ぐ教育と福祉の連携モデル事業である児童生徒用「LINE相談窓口」の開設について説明を受けた。また、春日児童センターの廃止について、児童数の減少や浄化槽の整備に

多額の費用が必要となるため、令和7年度末の廃止に向けた条例の一部改正について説明を受けた。物価高対応子育て応援手当の支給に合わせ、留萌市独自施策として1万円を上乗せし、支給する補正予算について確認した。

【市立病院】

市立病院の使命と役割について市民の理解を深めるため、院長による健康講



話と併せて、『地域になくてもならない自治体病院となるために』と題して、市立病院の存在意義や現状、持続可能な地域医療のあり方について市民説明会を開催、結果について説明を受けた。

民生文教常任委員会行政視察「愛媛県西予市、八幡浜市」

民生文教常任委員会は、愛媛県西予市、八幡浜市にて行政視察を行った。

西予市は医療人材の確保や経営の安定化という課題に対応するため、「地域医療振興協会」を指定管理者とする指定管理者制度を導入。今年度から、西予市民病院・野村病院・つくし苑の3施設を対象に再編を開始した。制度導入に向け、市民や職員への説明会なども繰り返し行われたが、二次救急の集約化や野村病院の無床化など、西予市の持続可能な地域医療の構築は、多くの課題への対応が続いている。



▲西予市会議室

八幡浜市は子ども・子育て支援事業計画の策定時、市民アンケートによりニーズが高いとされた病児・病後児保育を重要施策として位置付け、平成31年

4月に病児・病後児保育施設「キッズケア・しらはま」を開設。空き教室のある学校の一部を改装して整備され、徒歩圏内に小児科や保育所がある立地を活かし、病院受診から預かり保育までを一体的に提供している。開設当初は有料だったが、令和6年度から無償化され、年々登録利用者也増加している。

「八幡浜市出産世帯応援事業」では、経済的理由で出産をあきらめることがないよう、育児用品や家事負担を軽減する家電の購入費用の一部を助成。子育て世代の経済的負担軽減を目的としている。この事業は、県が制定する「えひめ人口減少対策総合交付金」のメニューの一つを活用し、県と市町が連携して展開されている。



▲八幡浜市議場

市町の意見を反映しながら、県と市町が一丸となって人口減少に取り組んでいる。

道北支部議長会議員研修会

北海道市議会議長会道北支部議員研修会が11月6日、旭川市で開催され、議会改革とハラスメント対策について学びました。

講演①は、牧瀬稔氏（関東学院大学法学部地域創生学科教授）が「議会改革の現状と課題―地方議会の将来に向けて―」として、地方議会が住民の幸福感をどう創り出せるかが真の改革であると説きました。

「議会改革」という言葉は多く使われているが、改革の目的が曖昧になり「ランキング上位を目指す」など形式的な側面が強調される傾向がある。本来、議会改革は「住民福祉の増進」を達成するための手段であり、行政監視機能・政策立案機能の強化が目的であると指摘。

また、議員定数をどう捉えるか、地方議員のなり手不足と対策、議会提案政策条例制定へ向けて積極的に取り組んでほしいと強調していました。

講演②は、弁護士三輪記子氏。演題は「最



▲道北支部議員研修会開会式

新裁判例から見るハラスメントの傾向と対策―その原因と予防法―。

「グラビデアアイドルが弁護士になった」って言うんです。でも、弁護士がグラビデアをやったら、『ハレンチや、けしからん』でしょ。おかしくありませんか」と弁護士として、固定観念へのチャレンジをした経験談から始まりました。

パワーハラスメント（パワハラ）、セクシャルハラスメント（セクハラ）、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント（マタハラ）など、多様なハラスメントが問題となるのは、男女雇用機会均等法改正（セクハラ防止配慮義務）、パワハラ防止法の施行など法規制が進んだ時代の流れがある。また、ハラスメントが発生した場合、加害者の責任だけでなく、企業も安全配慮義務違反を負う場合がある。ハラスメントの予防法と企業の体制整備の対応策について説得力あるお話しでした。



▲弁護士の三輪記子さん

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

令和7年10月7日に開催された第2回臨時会では「議長の選挙」が行われ、副議長の指名推選により、小野敏雄議員が新たに留萌消防組合議会議長に選出されました。令和7年12月12日には第2回定例会が開催され「令和6年度留萌消防組合歳入歳出決算」、「令和7年度留萌消防組合補正予算（第2号）」を可決しました。

また、「留萌消防組合職員の育児休業等に関する条例」については、育児を行う職員の職業生活と家庭生活を両立するための項目が明記されたことに準拠するため、「留萌消防組合火災予防条例」については、大船渡市林野火災を受け、林野火災予防の実効性を高めるため、他2件の条例とともに、一部を改正する条例制定について可決しました。

市民と議会の意見交換会について

12月16日、留萌商工会議所青年部（留萌YEG）よりお申込みいただき、「市民と議会の意見交換会」を商工会議所小ホールにて開催いたしました。テーマは「地域に根差した道の駅の新たな発展を考える」として、議会からは総務経済常任委員会の7名が参加いたしました。

意見交換では、道の駅エリアの活用や周辺施設についてさまざまな意見や提案があり、市民の声として情報を精査し、議会活動に活かして行きたいと思います。



詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第4回定例会

一般質問と答弁 ①



こぬま きよみ
小沼 清美
【無会派】

質問 留萌市での多文化共生社会の施策について

近年、医療・介護・建設・農業など多様な分野で外国人が不可欠な存在となる一方、生活上の課題や誤解・偏見も増加している。全国知事会は11月に『多文化共生社会の実現を目指す共同宣言』を发出し、外国人を地域社会の一員として包摂し、安心して暮らせる社会の構築を目指す姿勢を示した。留萌市における外国人住民の現状と課題について、どのように捉えているか伺う。

【答弁】 本市においても、基幹産業である水産加工業や建設業、介護の現場などを中心に、外国人技能実習生をはじめとする外国人住民の数は増加傾向にあり、地域経済や社会を支える重要な担い手として共に暮らす生活者として認識している。互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として共に生きていく多文化共生の推進は、少子高齢化・人口減少対策を考えた上でも、極めて重要と捉えている。現在約230名の外国人住民が活躍しているが、受け入れ企業からだされた課題の解決として、関係機関との連携を図りながら、「や

さしい日本語」の普及啓発、ごみ出しルールや防災情報の確実な提供、円滑な入居につながる住居の確保等の支援を検討していく。また、国際交流協会を通じた交流機会の充実も図り、外国人住民が安心して暮らせる環境づくりと、文化を尊重し合える地域土壌の醸成を進め、国籍にかかわらず、誰もが留萌に住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向け、取り組む必要があると考えている。



▲留萌市国際交流協会が開催した外国人技能実習生の「陶芸体験」



むらやま ゆかり
村山 ゆかり
【無会派】

質問 市の発展と留萌港の活用

留萌港の利活用とまちづくりの考えを聞きたい。小麦集出荷貯蔵施設は、年間取扱量約3万6千トンを目標に今年8月稼働したが、稼働状況と課題を聞きたい。

【答弁】 留萌港は、物資の流通拠点、

陸上風車部材の搬入拠点、クルーズ船受入拠点など重要役割を担っている。サップフェスティバルなど港親水機能の一体的な活用、賑わいの創出は、経済活性化に着実に繋がっている。飛鳥Ⅱ、Ⅲは、来年2回ほど寄港。南極観測船「しらせ」は、子ども達に見てもらいたいと思い2年後の開基150年、開港90年の記念事業として要望している。

12月1日現在、6,210トンの小麦を受け入れ、4,410トンを出荷している。安定稼働と輸送事業者による集荷調整、船積み輸送の配線とのマッチングによる船待ち時間の短縮化が課題。ホクレンや輸送事業者、指定管理者などとのワーキンググループの連携を強化し、取扱量増加に向けて課題対応したい。

質問 人口減少と学校の適正配置

少子化・人口減少が進む中、新たな「留萌市小中学校適正配置」の協議が必要。今後の取組を聞きたい。

【答弁】 人口減少に伴い児童・生徒数は5年前より20%以上減少。小規模校では、教育課程への影響、学校行事の開催方法、複式学級編成など毎年苦慮している。人口減少下、望ましい教育環境の確保や適切な学校配置について、児童生徒、保護者、教職員、地域への影響を踏まえ、適正規模化の必要性を認識している。



▲来年寄港予定の飛鳥Ⅱ(写真)と飛鳥Ⅲ



とみず みほこ
戸水 美保子
【留萌公明党】

質問 高校生が利用する元川町のバス停の改善について

第3回定例会で元川町バス停の改善に向け、「留萌開発建設部のご協力も得ながら、来年度をめどに引き続き関係者と協議していく。」との答弁をいただいた。具体的な検討はどこまで進んでいるか伺う。

【答弁】 11月下旬に、留萌開発建設部より具体的な提案をいただいた。現在、開発建設部と事業者と市と協議を行っている。出来るだけ早く事業案が整うよう検討を進めている。

質問 春日住民センターについて

①地域住民の代表との協議の経過は。
②春日住民センターの継続利用が地

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第4回定例会 一般質問と答弁 ②

域住民の意向で決まった場合、高齢化の進展などによって、施設の維持・管理にあたり、将来に向けた費用負担について心配する声も伺っている。高齢化率などの地域特性を考慮するなど、今後に向け、どの地域に住んでいても、安心して暮らせるという制度を検討し、構築できないか伺う。



▲春日住民センター

【答弁】 ①これまで7回にわたり協議を続け、現在は、「春日住民センターの継続利用」に向け、地域での費用負担のあり方などについて、ご協議いただいている。意見集約のうえ、1月上旬に市へご回答をいただく予定。

②人口減少に伴い、町内会加入者の減少や、高齢化が進む中において、地域コミュニティや、これまでと同様に地域の活動場所を維持していくことについては、大変難しい課題であ

るものと受け止めており、町内会長会議の機会などを通じて、引き続き、地域の実情や課題の把握に努め、対応策を検討する。



むらかみ まさひこ
村上 雅彦
【無党派】

【質問】 留萌港の特定利用港湾の現状について

昨年4月1日に留萌港が特定利用港湾に選定された。今年10月20日から31日まで、令和7年度自衛隊統合演習（実動演習）が全国で行われ、留萌港では物資輸送訓練が行われた。そして、訓練の期間中の10月24日には留萌の介護施設でミサイル避難訓練が行われた。こういった状況のなかで、今回の物資輸送訓練の状況について、市長としての見解を伺う。

【答弁】 令和7年度に実施された自衛隊による統合演習は、陸上部隊の海上輸送の訓練を行うとともに、海上輸送における留萌港の活用について、検証を行っているものと認識している。なお、同時期に「デイサービスセンターは」とある「で行われたミサイル避難訓練は、内閣官房や消防庁が主催する国民保護訓練であり、主催や目的、実施の枠組みが異なるもので、直接の関係はない。

【質問】 会計年度任用職員の処遇につ

いての公募試験について

道内各市の公募試験について、今年9月に新聞記事が掲載されているが、留萌市にも取材があったのか、また留萌市の公募試験の実施状況について伺う。

【答弁】 会計年度任用職員の公募に関する調査は、令和7年6月19日付けで北海学園の川村教授から調査依頼があり、回答を実施。留萌市では、初めて会計年度任用職員として採用する場合には、原則として公募によるが、再度の任用については、公募試験は実施していない。



▲空からの留萌港(留萌開発建設提供)



おの としお
小野 敏雄
【萌芽クラブ】

【質問】 中西市政の検証と今後の展望について

3期目への決意について、また、ごみ焼却施設について伺う。

【答弁】 私の市政の検証と今後の展望については、「市民・民間活力と共に希望が開く留萌へ」を理念に公約を掲げた「5つの実行」の実現に向け市民、市議会議員の皆様や経済界の皆様との対話を常に心がけ、全力で市政に取り組んできた。人口減少の中にあっても地元業者がしっかりと経済を回すことで、市民の生活力や暮らしを豊かにするためにも将来を見据えた財政運営により持続的な街づくりを進めていく。



▲令和7年から始まった高齢者市内バス無償化

3期目への決意については、社会環境が急激に変化する中、留萌の将来に向け厳しい財政状況乗り越え様々な課題に向き合いながら、次の時代を切り開いていくことが責務であると受け止めている。人口減少社

詳細はこちらから
ご確認ください。



令和7年第4回定例会 一般質問と答弁 ③

会の中で大変厳しい課題である地域医療の維持確保、公共交通の維持、地域経済の底上げなど継続的かつ積極的に取り組む必要があると認識している。多くの市民の笑顔が広がり、安心して、留萌に住み続けることができるよう今後においても市政運営に努めたい。

次にごみ焼却施設については、補助事業などを活用することを踏まえて、目途として令和11年か12年に完成させたい。



かわむら ただし
川村 忠司
〔萌芽クラブ〕

質問 未来に繋がるまちづくり

これまでの道の駅の進化に対する市長の評価と今後の展望について聞きたい。また、建設予定の旧留萌駅エリアと繋がる道の駅エリアも含めた、市民にわかりやすい周辺地区のブランドデザインが必要ではないかと思うが市長の考えを聞きたい。

答弁 道の駅登録前の令和元年の船場公園利用者数から約3.9倍となり多くの方にご利用いただいている。令和8年夏頃に開業を予定しているアウトドア・アクティビティ拠点施設の整備を進めるとともに、賑わい誘導の核に位置付けている新交流複合施設整備予定地区が周辺施設と連携

しながら、賑わいの創出、人流をつくることと併せて、街中への誘導を目指すことを地区の将来像としている。今後も周辺エリアへの民間投資や商業集積などの誘導支援策を講じながら、地域の賑わいの復活への展開などを全体像として思い描いている。



▲建設予定の新交流複合施設を中心とした周辺イメージ

質問 学校給食について

今年度から民間委託された学校給食について、開始から半年が経過したが、事業運営の課題や効果をどのように評価しているか、また、委託先との今後の連携について具体的に

どのように考えているか聞きたい。
答弁 現時点で留萌市学校給食事業運営委員会の実施はないが、児童生徒や保護者の声を聞きながら、これらの声にどのように答えていくか検討を要するが、子育て関連施設への給食提供や、委託先と連携した食を通じた今後の教育政策の検討が課題である。



むらかみ ひとし
村上 均
〔留萌公明党〕

質問 道路政策について

通学路になっているが、歩道がない路線について、片側だけでも歩道を確保するべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 通学路において、交通量が多い路線で歩道が整備されていない路線というのは、現状として認識をしている。留萌市第6次道路整備5カ年計画の中で、教育委員会や関係機関とも十分連携をして、歩道整備に向けて子どもたちが安心して通学できる体制を検討していきたい。

質問 まちづくり施策について

旧留萌駅周辺の関係施設を鉄道遺産として観光などで活用する考えはあるか伺う。

答弁 旧留萌駅周辺には、駅舎跡や線路跡など鉄道関係施設が残されて

おり、これらの鉄道遺産をどのように保全し、観光や交流の場として生かしていくかが、まちづくりの観点からの大きな課題となっている。併せて、見晴公園に現存する国鉄D61型蒸気機関車についても、道の駅るもいエリアへの移設を視野に入れた検討を進めているところであり、旧留萌駅周辺を含めた一体的な活用の方角性を整備していく必要があるものと考えている。

令和5年度に鉄道遺産活用可能性調査を実施し、今後については、こうした調査結果や提言書の内容、さらに周辺の鉄道関連施設の状況も踏まえ、エリア全体の回遊性向上に資する形で鉄道遺産を観光コンテンツとしてどのように位置づけ、活用していくか検討を進めていく。



▲今後の歩道整備計画は

議会の動向

令和7年9月3日から令和7年12月2日までの議会の動向を報告します

- 7.9.2 令和7年留萌市議会第3回定例会開会日
- 9.3 海上自衛隊護衛艦「はぐろ」入港歓迎式、特別公開、歓迎懇親会
- 9.4 海上自衛隊護衛艦「はぐろ」乗組員との交流会
- 9.5 海上自衛隊護衛艦「はぐろ」見送り
 - 〃 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」出迎え、入港歓迎式
 - 〃 浅野貴博と語る9月の集い
- 9.6 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」歓迎懇親会
 - 〃 令和7年度留萌市防災訓練視察
- 9.7 海上自衛隊多用途支援艦「すおう」見送り
- 9.8 客船留萌寄港歓迎セレモニー、船内見学会
 - 〃 一般質問
 - 〃 議会運営委員会
- 9.9 一般質問
- 9.10 令和6年度決算審査特別委員会
- 9.11 本会議
- 9.12 各派代表者会議
- 9.14 オロロンひまわり基金法律事務所引継披露宴
- 9.16 議会運営委員会
- 9.22 議会運営委員会
 - 〃 総務経済常任委員会
 - 〃 議会広報聴常任委員会
- 9.24 民生文教常任委員会
- 9.26 総務経済常任委員会
 - 〃 議会運営委員会
 - 〃 令和7年留萌市議会第4回臨時会
- 9.29 第50回富士登山駅伝競走大会留萌自衛隊チーム第3位入賞祝賀会
- 9.30 議会運営委員会
 - 〃 市民と議会の意見交換会
- 10.9 令和7年度陸上自衛隊留萌駐屯地の充実発展を求める要望活動
- 10.10 令和7年度「札幌留萌の会」
- 10.12 第47回「東京留萌の会」
- 10.14 北海道市議会議長会道北支部議長会(秋季)
- 10.16 議会広報聴常任委員会
- 10.23 全国市議会議長会基協北海道会定期総会(留萌市開催)
- 10.24 令和7年度留萌市国民保護訓練
- 10.25 北部方面隊創隊七十三周年記念事業(音楽まつり)
- 10.26 北部方面隊創隊七十三周年記念事業(祝賀会食)
- 10.27 全国自治体病院経営都市議会協議会第19回地域医療政策セミナー
- 10.29 総務経済常任委員会
 - 〃 民生文教常任委員会
- 11.3 留萌市功労等表彰式
- 11.4 上富良野町議会議会運営委員会行政視察
- 11.6 北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会
- 11.8 自治講座「夕張の現状から自治の課題を考える」
- 11.10 長野県伊那市議会平成クラブ行政視察
- 11.11 全員協議会
- 11.13 民生文教常任委員会行政視察(愛媛県西予市・八幡浜市)
- 11.15 自衛隊旭川地方協力本部創立十九周年記念祝賀会
- 11.18 総務経済常任委員会行政視察(茨城県常総市・土浦市)
- 11.19 民生文教常任委員会
- 11.20 総務経済常任委員会
 - 〃 各派代表者会議
- 11.21 陸上自衛隊留萌駐屯地の充実発展を求める要望活動及び海上自衛隊と留萌市の連携強化を求める要望活動(中央要望)
- 11.22 全国市議会議長会基協北海道会要望及び全国自治体病院経営都市議会協議会要望活動
- 11.26 小川隆宏留萌駐屯地司令を囲む会
- 11.27 各派代表者会議
- 11.28 議会運営委員会
- 12.2 令和7年留萌市議会第4回定例会開会日

こんなことが決まりました

令和7年 第4回定例会 12月2日～10日
 令和7年 第4回臨時会 9月26日
 令和7年 第5回臨時会 12月25日

令和7年 第4回定例会

認 定	・ 令和6年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について ・ 令和6年度留萌市下水道事業会計決算の認定について ・ 令和6年度留萌市水道事業会計決算の認定について ・ 令和6年度留萌市病院事業会計決算の認定について …認定
議 案	・ 専決処分の報告について(令和7年度留萌市一般会計補正予算(第5号)について) …承認 ・ 令和7年度留萌市一般会計補正予算(第6号) ・ 留萌市一般職員給与条例等の一部を改正する条例制定について ・ 留萌市港南コミュニティセンターの指定管理者の指定について ・ 留萌市観光拠点施設の指定管理者の指定について ・ 令和7年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・ 令和7年度留萌市港湾事業特別会計補正予算(第1号) ・ 令和7年度留萌市水道事業会計補正予算(第1号) ・ 令和7年度留萌市病院事業会計補正予算(第1号) ・ 留萌市議会議員及び留萌市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について ・ 留萌市児童館条例の一部を改正する条例制定について ・ 留萌市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について ・ 留萌市看護師等修学資金貸付条例の一部を改正する条例制定について ・ 留萌市空家等の適切な管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ・ 留萌市老人デイサービスセンターの指定管理者の指定について …ほか14件…原案可決 ・ 留萌市固定資産評価審査委員会委員の選任について …ほか2件…同意
決 議 案	・ 新交流複合施設建設に関する特別委員会設置についての決議 …原案可決
意見書案	・ 危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書 ・ 巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書 …ほか4件…原案可決

令和7年 第4回臨時会

選 挙	・ 留萌消防組合議会議員の選挙について …指名推選
議 案	・ 損害賠償の額の決定について …原案可決

令和7年 第5回臨時会

報 告	・ 専決処分の報告について …了
議 案	・ 令和7年度留萌市一般会計補正予算(第8号) …ほか1件…原案可決



編集後記

●明けましておめでとうございます。

本年もわかりやすく議会の情報をお伝えできるよう心掛け、少しでも市民のみなさまに議会活動を知ってもらえたらと思います。これから大型事業が展開されていきますが、チェック機能としての議会の動きも是非とも注目してください！(川)